

上原だより

渋谷区立上原小学校 校 長 佐伯 孝司

https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharae

「あいさつ」から広がる心の交流を大切に

副校長 西村 綾乃

校庭で「春探し」をしていた子供たちが、建物の陰に隠れひっそりと咲いているたんぽぽの花や、 青々と茂る「葉桜」に気付き、嬉しそうに報告してくれました。始業式・入学式から約1か月。植物 が芽吹き、生き物が活動しだす過ごしやすい季節となりました。

上原小学校では、4月17日(月)から、今年度の「あいさつ運動」が始まりました。開け放った職員室の窓から5年生の当番さんの「おはようございます」という元気な声が聞こえるようになり、朝から元気をもらっています。どの学校でも「あいさつ」の大切さを訴え、様々な取組をしています。教職員が朝、門前に立ち「おはようごさいます」と声をかける光景はよく見られます。本校では、子供たちが主体となり、「あいさつ」の輪を広げます。自分が声をかけたとき、相手からの反応がなければ残念な気持ちになり、返事が返ってくると嬉しくなります。自らがそのような体験をすることで、「あいさつ」の大切さが一層感じられるとても良い取組であると思います。

あいさつの語源を調べると、「挨拶」という漢字の「挨」の文字には「押す」という意味が、「拶」には「迫る」という意味があります。これは元々、仏教の禅宗で使用されていた「一挨一拶(いちあいいっさつ)」が語源なのだそうです。「ひとつ押し、ひとつ迫る」、心を開いて接するというような意味合いで使われ、問答を交わして相手の修行の悟りの深さをはかることを表しています。問答はお互いが心を開いて接することから、自分と相手の関係を築くコミュニケーションの一つとして考えられるようになったようです。

本校では、言葉で子供たちの「心」を育てていくための環境を整えていきたいと思います。相手の目を見て、相手の心に届くような「あいさつ」ができるように、学校・家庭・地域が協力し子供たちに働きかけていけるよう、ご家庭でも「あいさつ」の意味について話し合う機会をもっていただけますと幸いです。

く児童の作品や写真などの使用について>

本校では、学校ホームページや学校だより、学年だより、掲示板等を活用して学校での教育活動を広くお知らせするために、 児童の作品や写真等を掲載しています。掲載するにあたり「渋谷区個人情報保護条例」に則り、以下の点について配慮し、個 人情報の保護に努めてまいります。掲載の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

- ·作品、写真等と児童氏名は同時に掲載しない。
- ・写真については個人の特定ができないよう、撮影角度を工夫する、画像を小さく粗くする、顔のアップは掲載しないなどの工夫を する。
- ・目的外の使用はしない。
- ・訂正、削除の願い出があった場合、速やかに確認し、理由があると認められる場合には速やかに訂正・削除する。
- ・個人が特定できるような写真を掲載する場合は、事前に本人及び保護者の同意をとる。 作品・写真の掲載について不都合な場合はあらかじめ担任までお申し出ください。